

「すずしろ」は大根の事。春の七草の一つです。漢字で「清白」と書きます。清武の清と名物千切り大根で有名な町にちなんで名付けられました。

宮崎市きよたけ児童文化センター

2020

すずしろ

SUZUSHIRO

No.376

ホテルぎよ武・

・清武総合支所

きよたけ児童文化センター

・四季の夢

・宮崎市清武文化会館

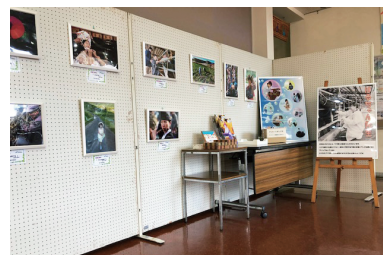
宮崎市清武体育館



私たちが右往左往しているときでも、岡川にかかるふれあい橋辺りの河原には菜の花が満開で、毎日流れる新型コロナウイルス関連ニュースの暗い気持ちを一瞬ほっとさせてくれます。何事も無かったかのように青空の元、風にそよぎゆらゆらと揺れていました。



菜の花が満開。



元気がでる写真展

毎年展示する NOSAI の「宮崎の農村」写真コンテストの作品が並んだ。神楽を舞う少年、仲良しの老夫婦、実り豊かな風景など、思わず微笑んでしまう様な温もりのある写真に何だか元気がもらえそうだ。

今、子どもたちの間では「おしりたんてい」や「かいけつゾロリ」「サバイバルシリーズ」が人気です。お父さんやお母さんが子ども達と頃はどんな本に夢中になっていたのでしょうか。江戸川乱歩の「少年探偵団」那須正幹の「ズッコケ三人組」や寺村輝夫の「わかつたさん」「こまつたさん」などはとても人気があつてシリーズ化されました。そこで児童文化センターでは春の読書週間（4月23日から5月12日）に昭和・平成・令和と読み継がれている本の展示を企画します。子ども時代に夢中になった本や、そのエピソードなどアンケートに QRコード・FAX でお寄せください。

お父さん、お母さん おすすめの本



手洗いは 続けましょう。



感染予防に効果的なのは手洗いだと何度でも言われてきて、みんな石鹸の泡で指の間も爪の先も手首までもしっかりと洗うことが上手になってきました。それを習慣にしませんか。手洗いのおかげで今年インフルエンザにかかる人が減ったとも言われています。これからも続けていきましょう。



清武は水の豊富な町。いたるところで、きれいな水の流れを見ることが出来る。そのほとりにはこけむした石が並び、かつては人の手で植えられたであろう植物達が、今は絶妙なバランスで野生化している。お見事！



自然のアレンジには かなわない。

ATTENTION

図書室からお知らせ

4月1日から、貸出し冊数と貸出し期間が変わりました。

貸出し冊数 3冊 → 5冊

貸出し期間 10日 → 14日間

これからは、長くたくさんのお本が読めるようになりますね。

三月風景

Twitter 館長

82



子どもたちの姿がどこにも無い。いつもだったら、大勢の子どもたちが遊んでいる公園にもいない。休校中、人が多く集まるところには行かないように、公園にも行かないように学校で指示されたらしい。みんなよく守っている。ここ児童文化センターも三月いっぱい休館になった。初めての事態にとまどいながらも状況が終息に向かう事を祈りつつ私たちも注意を払っている。それにしても子どもたちは毎日どうしているのだろうか。スーパーやドラッグストア、コンビニから紙という紙製品が姿を消した。オイルシヨックの時のような事にはならないだろうとたかをくくっていたのが出遅れの原因が、早めに行動に移ったつもりだったが、世間はもっと早かった。息子からメールが送られてきた中に「あらんとした銀座の目抜き通りの画像があった。今まで見たこともない光景だ。宮崎でも土曜日、日曜日は混雑する道路に車が少なく、夕方のスーパーのレジも並ばずに済んでしまうのはいいが、こうなった原因が「新型コロナウイルス」にあると思うと不安でもある。入学式はどうなるのだろう。全国でも縮小されたり無観客試合ではないが、親御さんたちが参加できない式になるとか、繰り上げて子どもたちだけの卒業式を行ったところもあった。そんな中、国立大学の合格発表があり、友人の息子が合格したという嬉しい知らせが届いた。憂鬱になりがちな気分をパッと明るくしてくれた。久しぶりにいつも来る小学生に会った。近況を聞き、別れしなにその子が「先生も気を付けてください」だって。気持ちがおぼろげとして泣けてくるよ。一日も早く今の制限から自由になれるといいな。